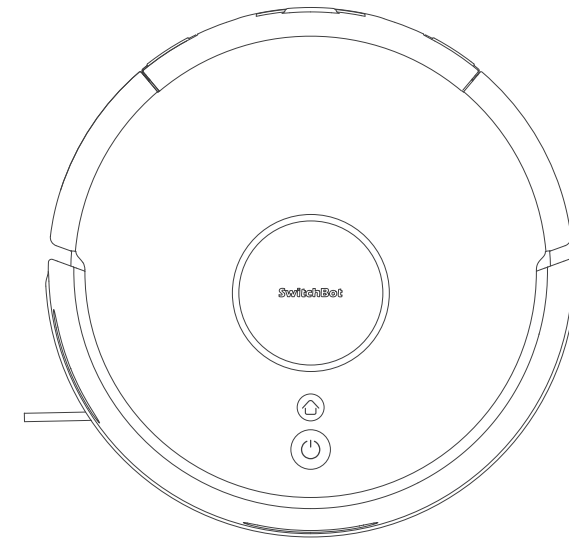


SwitchBot ロボット掃除機K10+

取扱説明書



もくじ

お掃除の前に

準備する

安全上のご注意	01
使用上のお願い	06
パッケージ内容	07
各部のなまえ	07
ロボットを準備する	10
充電する	11
スマホと接続する	12

ロボットを使う

掃除する

清掃する	12
水拭きする	13

お掃除のあとに

お手入れする

モップ取付パッド	16
ダストボックス	16
フィルター	17
サイドブラシ	18
前輪	18
メインブラシ	18
センサーと充電端子	19
紙パック	19



困ったことがあったら

必要なとき

困ったときは	21
表示ランプの状態	23
ネットワーク初期化	23
ファームウェアアップデート	23
製品を廃棄するとき	23
製品仕様	24
保証	25
アフターサービス	25

安全上のご注意



誤った使い方や生じる危害や損害の程度を区分し、以下の通り説明しています。

 危険 「死亡や重傷を負うおそれ大きい」内容	 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある」内容
 注意 「軽傷を負う、または財産の損害が発生するおそれがある」内容	

以下の記号で使用上お守りいただく内容を説明しています。

 してはいけない内容	 しなければならない内容
--	--

危険

	<ul style="list-style-type: none">火への投入、加熱、またはストーブなどの暖房器具や火のそば、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しないでください。(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)水につけたり、水をかけたりしないでください。(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)	<ul style="list-style-type: none">ぬれた手で、ロボットやゴミ収集ステーションを触らないでください。(発熱・発火・感電の原因)バッテリーを分解・改造をしたり、クギで刺したり、衝撃を与えたりしないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)コネクターを金属でショートさせないでください。(ショートによる液漏れ・発熱・発火のおそれ)
	充電には専用のゴミ収集ステーションを使用してください。(バッテリーの液漏れ・発熱・発火・感電の原因)	

警告

本体・ゴミ収集ステーション・電源コード



- 本製品をお子様や、身体・知覚・思考能力が著しく低下している方が単独で使うことは絶対にお止めください。ご使用の際には安全に使用できる環境下、かつ、製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用するようにしてください。お子様が本製品で遊ばないようにご注意ください。また、監督者のない環境下でのお子様によるご使用、清掃やお手入れは、絶対に行わないでください。(けが・やけど・感電の原因)
- ロボットには、お住まいの地域で承認された電源コードが付属しており、家庭用コンセントに差し込むことを想定して設計されています。他の電源コードや電源タップは使用しないでください。
- 引火性のもの、火の気のあるものそばで使用しない、吸わせないでください。(爆発・火災の原因)
ストーブなどの暖房器具、たばこ、コピー用のトナー、灯油、シンナーなど
- メインブラシやサイドブラシに触れないでください。(けが・やけどの原因)
→特に、お子様にはご注意ください
- 本体に乗ったり、重い物を載せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(けがの原因)
- 段差センサーにテープやシールを貼らないでください。(本体の落下によるけがや火災・感電のおそれ)
- 子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届く所で使用したりしないでください。(感電・事故・けがの原因)
→自分で意思表示ができない人や、自分で操作できない人には使用させないでください
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしないでください。(たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災のおそれ)
- 電源コードは、本機専用のゴミ収集ステーション以外に使用しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ゴミ収集ステーションは、本機以外の充電には使用しないでください。(過電流によりバッテリーが液漏れ・発熱・破裂するおそれ)
- ゴミ収集ステーション、電源コードは、傷んだまま使わないでください。(発熱や発火による火災のおそれ)
- ゴミ収集ステーションのコネクターや電源コード、充電端子を金属でショート(短絡)させないでください。(ショート(短絡)による液漏れ・発熱・発火のおそれ)



- 誤った使い方をしないでください。
 - 水洗いしない(水洗いできる付属品・部品は除く)
 - トイレ、風呂場などの水回りで使わない
 - 分解・修理・改造をしない(感電・火災の原因)
 - 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない(感電の原因)
 - 電源コードを破損するようなことはしない(感電やショートによる発火のおそれ)
→メインブラシに巻き込ませる、傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねて使用するなど
- 次の場所では使わないでください。
(本体・ゴミ収集ステーションの落下によるけがや火災・感電のおそれ)
 - 吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフトや廊下
 - 急傾斜のスロープ
 - 本体が旋回できない狭い所
 - 階段、踊り場、下り階段に面した所
 - 冷蔵庫の上などの狭くて高い所など

充電式バッテリー



- ぬれた手でバッテリーを触らないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- バッテリーが液漏れして液が目に入ったときは、目をこすらないでください。(失明の原因)
→すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

無線対応機器



- 心臓ペースメーカーを装着されている人が利用する可能性がある場所では、ロボットを使用しないでください。
(本機の電波によってペースメーカーなどの動作に影響を与えるおそれがあり、事故の原因)
- 医療用電気機器のある場所で使用しないでください。(本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

本体・ゴミ収集ステーション・電源コード

本体が接触して事故をまねくおそれのあるものは移動させます。(火災・けが・事故の原因)

- ・ストーブなどの暖房器具、火のついたろうそく・たばこや花瓶など(本体が衝突した衝撃で落下したり倒れたりする場合があります)
- ・扇風機など本体と同じくらいの高さに操作部がある電化製品(本体が衝突して電化製品の操作部を押す場合があります)

次のことを守る

- ・犬や猫などのペットは、ケージやサークルに入れるか別の場所へ移動させる。(感電・事故・けがの原因)
- ・段差センサーが汚れているときはお手入れする(本体の落下によるけがのおそれ)
- ・お手入れのときや、子供やペットだけのときは、電源を切る(感電・けがの原因)

落下、衝撃、水ぬれを避けます(発熱・発火・感電の原因)

製品の安全な使用方法と危険性を理解している方がいる環境で使用します。(けが・やけど・感電の原因)

→特に、お客様にはご注意ください。



電源コードは付属品を使用し、正しく扱います。

- ・根元まで確実に差し込む(感電や発熱による火災のおそれ)
- ・お手入れのときは抜く(感電の原因)
- ・ほこりは乾いた布で、定期的に拭く
(ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれ)

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを抜いてください

(発煙・発火、感電のおそれ)

異常・故障例

- ・電源ボタンを押しても、運転しない
- ・運転中、異常な音がする
- ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- ・焦げ臭い「におい」がする

→すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

注意

本体・ゴミ収集ステーション・電源コード



- ・火気に近づけないでください。(排気で炎が大きくなり、火災のおそれ)
- ・運転中、本体をのぞき込まないでください。(転倒・けがの原因)
- ・運転中、テーブルなどの上に物を置かないでください。(本体が衝突した場合、衝撃で物が落ちて破損するおそれ)
- ・傷みやすい敷物や床材(ワックス塗ったての床、大理石の床など)では使用しないでください。(破損・傷つきの原因)
→破損させた場合は、使用を中止してください
- ・傷んでいる床材や古い畳などでは使用しないでください。(破損・傷みが拡大する原因)

誤った使い方をしない

- ・本体を引きずらないでください。
- ・ブラシフレームやサイドブラシが摩耗したり、砂・小石などの異物が付着したりしたら、そのまま使わないでください。(床面の傷つきの原因)
→ご使用前に点検し、摩耗時はお買い求め先にご相談ください。
- ・電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。(感電やショート(短絡)による発火のおそれ)



次のことを守る

- ・掃除の前に、壊れやすいもの・吸い込まれると困るものは片づけてください。
- ・長いひもやコード類、フリンジ(房)の付いている敷物(じゅうたん・マットなど)・座布団は片づけます。
- ・片づけられない箇所では使用を避けてください。(破損・傷つきの原因)
- ・本体を運ぶときは、運転を停止してから両手でしっかり持ってください。
(落下によるけがや床面の傷つきのおそれ)
→操作部には触れないでください。
→主輪やメインブラシに指を挟まないようご注意ください。

・遠隔操作する場合、本機周辺の状況を確認できないため、事前に安全を確認してください。(転倒・けがの原因)

充電式バッテリー

⊘	物を載せたり、落下しやすい所に置いたりしないでください。(発熱・発火・感電・けがの原因)
!	<ul style="list-style-type: none">・バッテリーが液漏れして液が体や衣服に付いたときは、きれいな水で十分に洗い流してください。(皮膚の炎症やけがの原因)・湿気やほこりの少ない場所で保管してください。(発熱・発火・感電の原因)

使用上のお願い

- ・業務用や掃除以外の目的に使わないでください。
- ・次のようなものは吸わせしないでください。(故障や異臭の原因)
 - ・除湿剤
 - ・ペットなどの排泄物が付着したもの
 - ・多量の粉(消火器の粉など)・ガラス、ピン、針、刃物など鋭利なもの。
 - ・湿ったもの
 - ・カーペットのフリンジ(房)
 - ・水や液体
 - ・長いひも
 - ・粘着性のあるもの(粘着式の防虫シートなど)
 - ・食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの
- ・多量の砂、ペット用砂、小石などがある場所は掃除しないでください。(故障の原因)
- ・メインブラシに注油しないしないでください。(破損の原因)
- ・吸込口・排気口をふさがらないしないでください。(過熱による変形の原因)
- ・セキュリティシステムが稼働しているときは使わないでください。(セキュリティシステムの誤動作の原因)
「スケジュール清掃」で開始する時刻を、ご家庭のセキュリティシステムが稼働している時間帯に設定しないでください。
- ・本体の各センサーやゴミ収集ステーションに、テープやシールを貼ったり、布をかぶせたりしてふさがらないでください。(故障や動作不良の原因)
- ・表面が硬く、凸凹したコンクリート床などは掃除しないでください。(ブラシフレーム、主輪、サイドブラシの摩耗の原因)
- ・電源コードは、本体が引っ掛からないように壁に沿わせてください
- ・他の製品のコードやひもが引っ掛からないように片づけてください。(コード巻き込みなどによる故障や動作不良の原因)
- ・お手入れなどで本体を裏返すときは、柔らかい布などを敷いてください。(傷つきの原因)

パッケージ内容

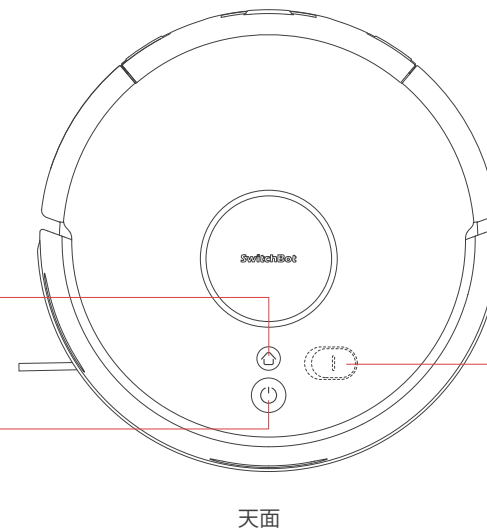
ロボット本体×1	ゴミ収集ステーション×1	モップ取付パッド×1	サイドブラシ×2	小型メンテナンスツール×1	紙パック×2
フィルター×2	クイックガイド×1	取扱説明書×1	サポートカード×1	保証書×1	

各部のなまえ

本体

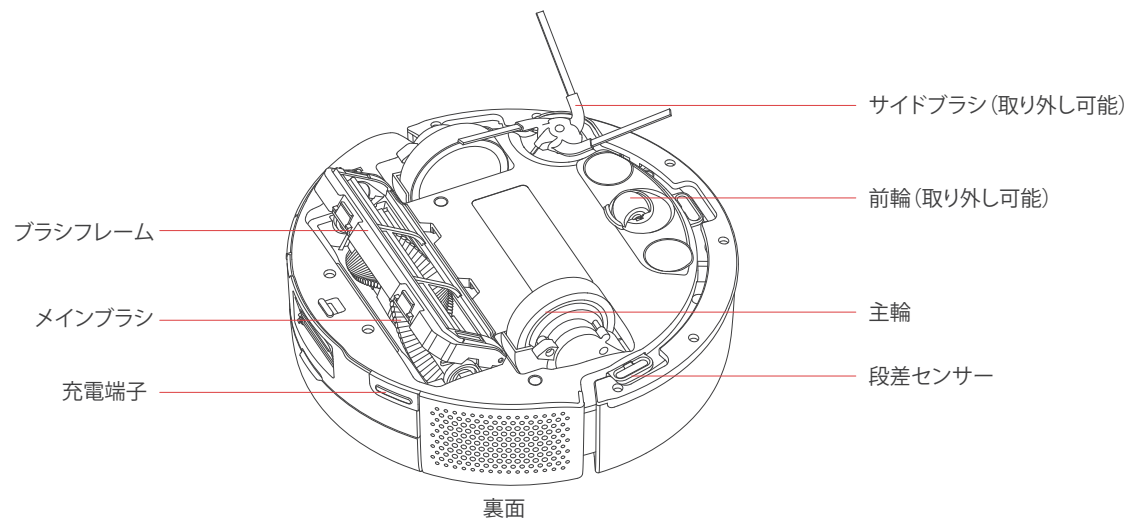
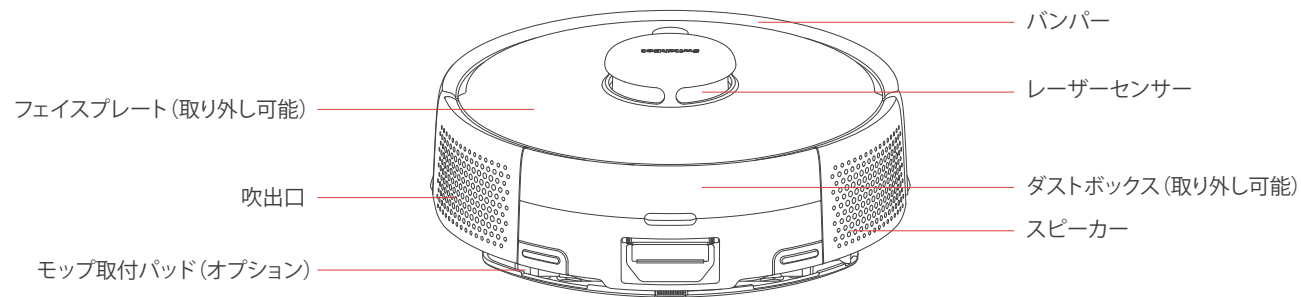
充電ボタン
・短押しすると再充電または再充電一時停止

清掃ボタン
・長押しするとロボットを起動/停止
・短押しすると清掃を開始/一時停止

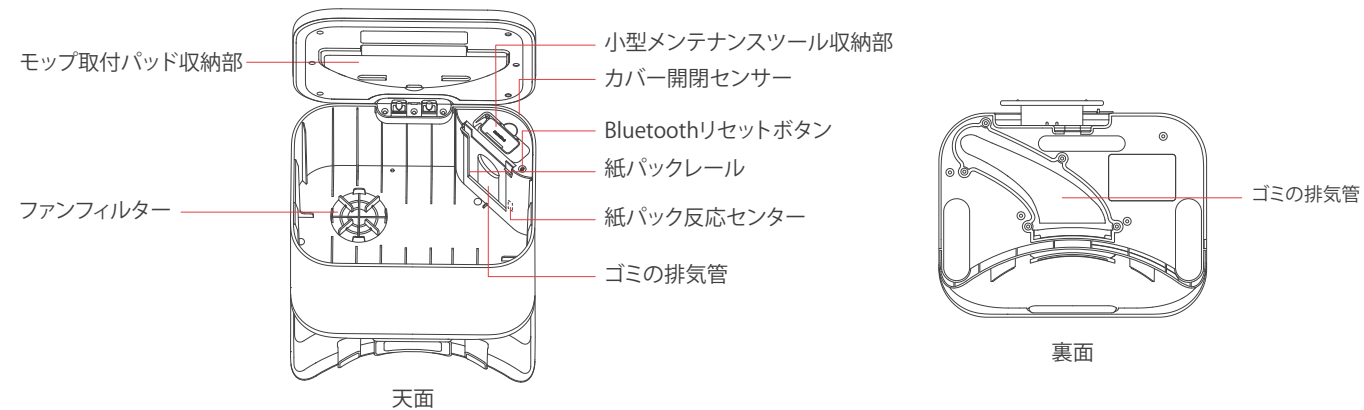
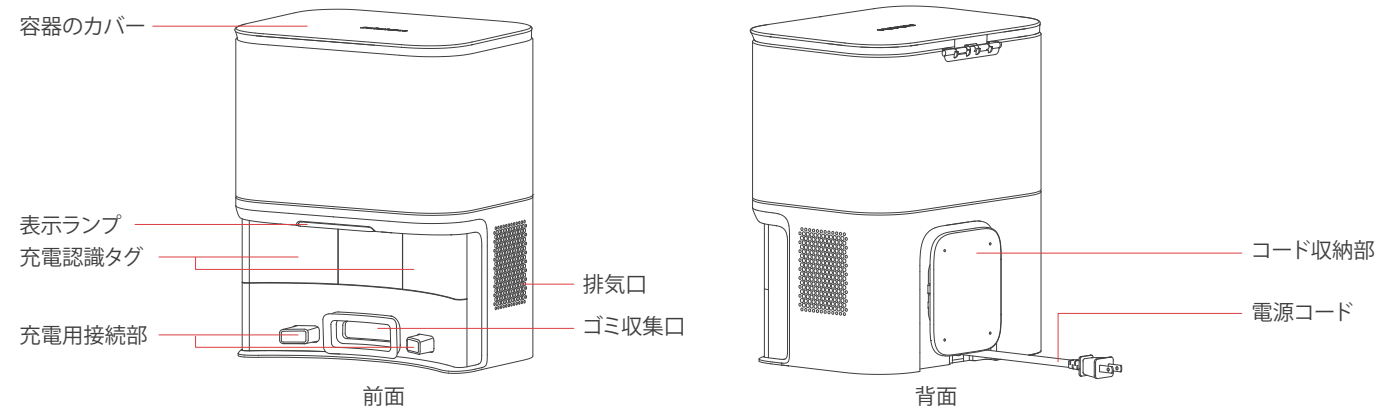


電源ON/OFFスイッチ
・「O」に切り替えて電源をOFF
・「I」に切り替えて電源をON

天面



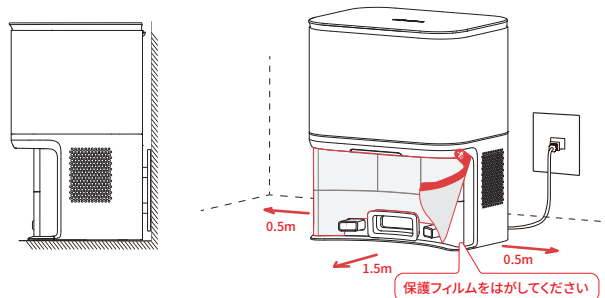
ゴミ収集ステーション



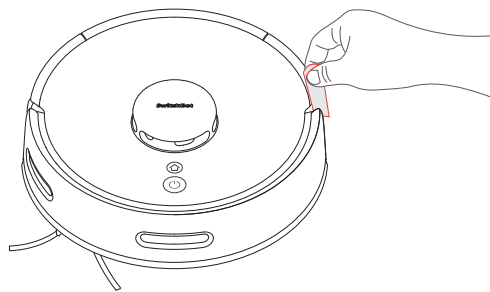
ロボットを準備する

1. ゴミ収集ステーションを固く平らな床の壁際に設置した後、電源に接続します。

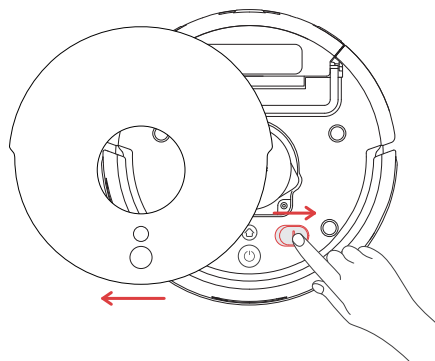
- 充電できないことを防ぐため、必ず充電認識タグの保護フィルムをはがしてください。
- 余剰のケーブルを整理し、掃除中にロボットによってケーブルが引き伸ばされないようにしてください。
- ゴミ収集ステーションの両側に0.5m、前方に1.5mのスペースを空け、このエリア内には障害物や強力なライトが存在しないようにしてください。
- ゴミ収集ステーションは階段、その他のオープンエリア、および熱源（ヒ



2. ロボットを床に置き、バンパーの両端にある保護用スポンジを両方も外します。



3. フェイスプレートを外し、ON/OFFスイッチを「I」に切り替えます。



4. 電源を入れる/充電

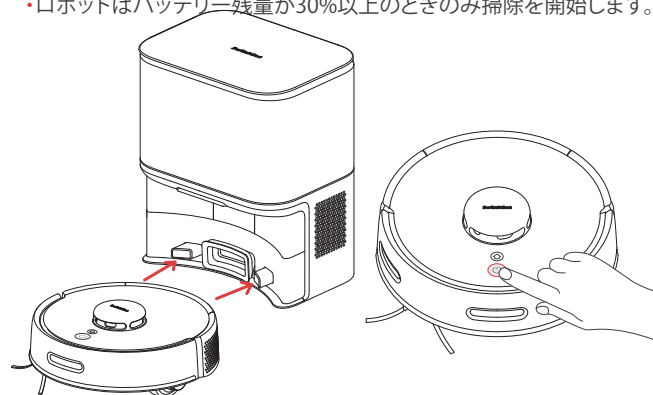
方法1: 清掃ボタンを5~10秒間長押ししてロボットをONにします。

方法2: ロボットをゴミ収集ステーションに置き、充電端子に合わせます。

。ゴミ収集ステーションの表示ランプがOFFになると、ロボットの電源が自動的にONになり充電を開始します。

※ご注意:

- ゴミ収集ステーションおよびロボットの充電端子を定期的に掃除してください。
- バッテリー残量が不十分な場合、ロボットをオンにすることができません。ゴミ収集ステーションに置くと自動的にオンになります。
- ロボットはバッテリー残量が30%以上のときのみ掃除を開始します。

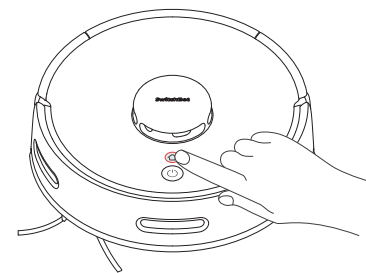


充電する

ロボットの充電ボタンを押す、またはアプリから操作すると、ロボットはゴミ収集ステーションに戻ります。

一時停止: 充電ボタンを押すと、ゴミ収集ステーションへ戻り、充電を開始します。

清掃中: 充電ボタンを一回押すと一時停止し、再度押すとゴミ収集ステーションへ戻り、充電を開始します。



スマホと接続する

アプリの機能をお使いいただくためには、本製品をインターネットに接続する必要があります。

本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することはできません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

- ・スマホやタブレットのBluetoothバージョンが4.2以上であることを確認してください。
- ・下記のQRコードをスキャンして、SwitchBotアプリをダウンロードしてください。



iOS 14.0+

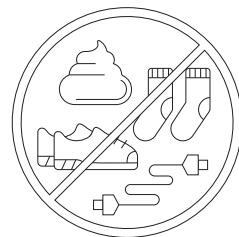


Android OS 5.0+

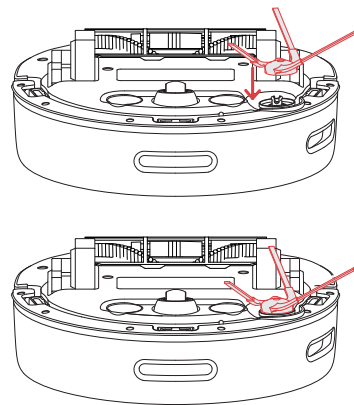
ロボット掃除機 K10+ を使う

清掃する

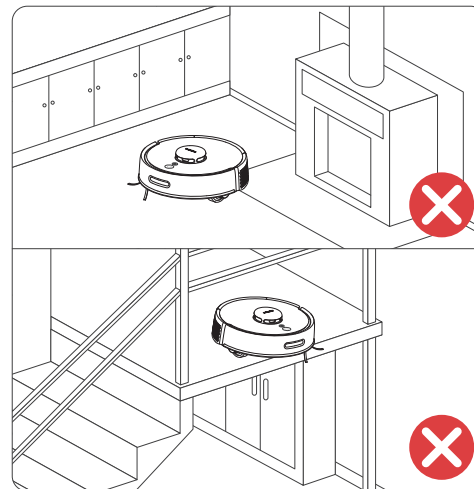
1. 清掃を開始する前に、床の上（靴下、電源コードなどの小物）を片付け



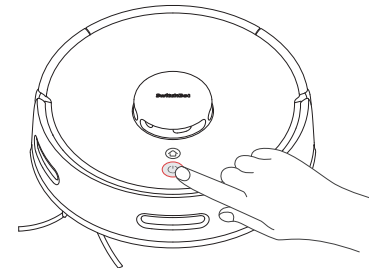
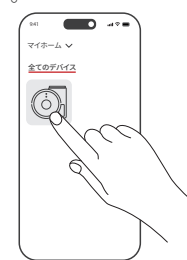
2. カチッという音がするまで、サイドブラシを本体裏面の左側に差し込み



3. 段差から落ちる転落トラブルを防ぐため、落下防止柵のないロフト、吹き抜けに面した廊下、階段の踊り場では、柵やバリアを使用してください。またはマップを作成や清掃中に、進入禁止エリアやバーチャルウ

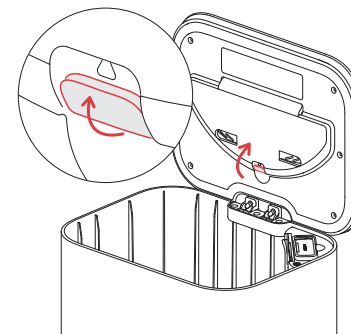


4. SwitchBotアプリから操作、または清掃ボタンを押して清掃を始



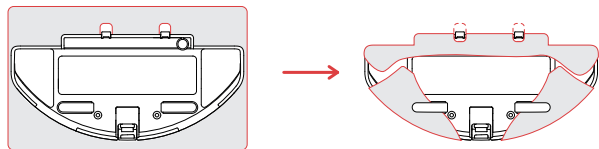
水拭き

1. 容器のカバーを開け、モップ取付パッドを取り出します。

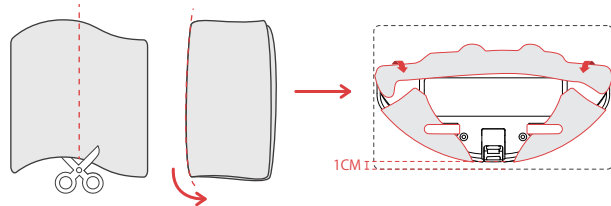


2. お掃除シートをモップ取付パッドに取付ます。

①専用お掃除シートの取付

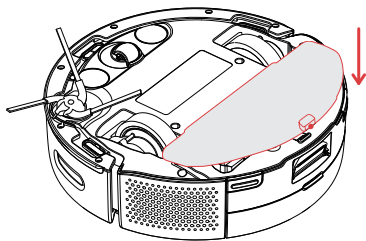


②市販お掃除シートの取付

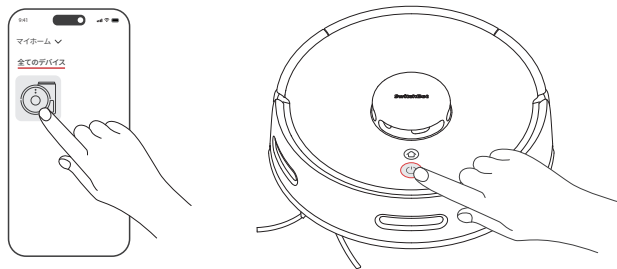


ご注意: 通常の市販お掃除シートのサイズは30×20cm、モップ取付パッドに適用するお掃除シートのサイズは20×15cmです。市販お掃除シートを使う場合は、半分に折るまたは切ってから取付ください。

3. モップ取付パッドをロボット裏面のメインブラシの上に取付ます。

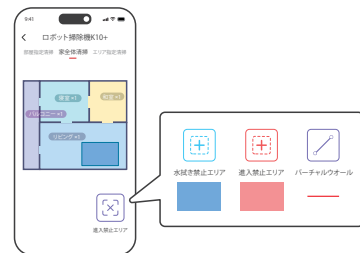


4. SwitchBotアプリから操作、または清掃ボタンを押して水拭きを始めます。

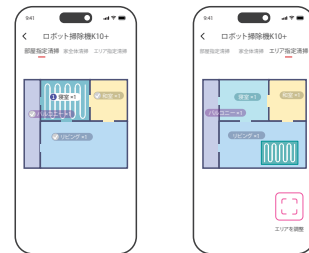


ご注意:

①水拭きモードの際は、カーペットの上など、予め「進入禁止エリア」を設定するようおすすめします。



②お掃除シートが乾いた状態で水拭きを続けると、汚れを落とす効果が弱くなります。長時間水拭きをする場合は、約20分ほどを目安にお掃除



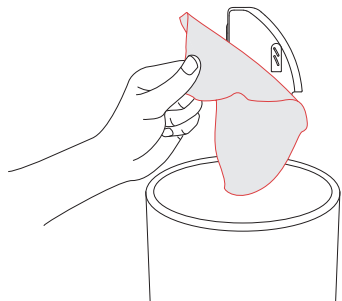
お手入れする

ロボットの清掃能力を最適に保つため、以下の手順に沿ってお手入れを行なってください。
ロボットの吸引力が低下したら、ダストボックスを空にして、フィルターやブラシを清掃してください。紙パックが満タンの場合は、新しいものと交換してください。

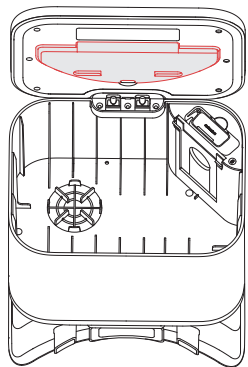
部品	お手入れの頻度	交換時期の目安
紙パック		70日ごと
ダストボックス	必要に応じて洗浄	
段差センサー	月に1回を目安に清掃、またはアプリの通知が来たときに清掃	
フィルター	月に1回を目安に清掃、またはアプリの通知が来たときに清掃	2~3カ月ごと
前輪	月に1回を目安に清掃。ペットの抜け毛が多い場合は、お手入れの頻度を増やす。	12カ月ごと
サイドブラシ	月に1回を目安に清掃。ペットの抜け毛が多い場合は、お手入れの頻度を増やす。	12カ月ごと
メインブラシ	月に1回を目安に清掃。ペットの抜け毛が多い場合は、お手入れの頻度を増やす。	12カ月ごと

モップ取付パッド

1. 水拭き終了後、モップ取付パッドをロボットから外し、お掃除シートを捨て、モップ取付パッドを洗浄します。

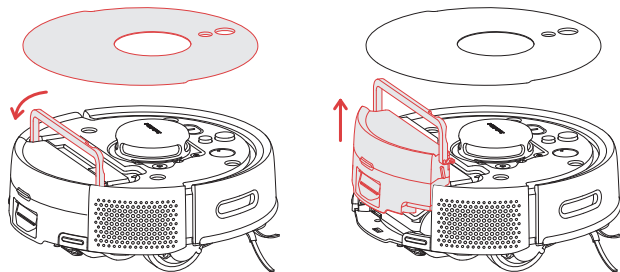


2. モップ取付パッド収納部に戻します。

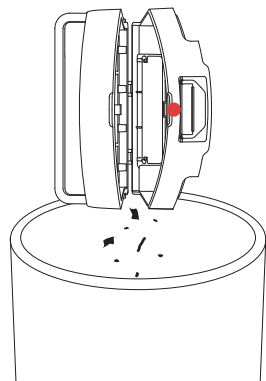


ダストボックス

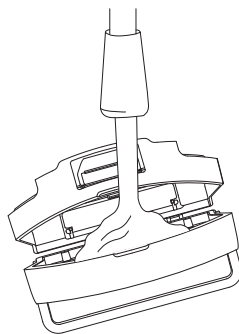
1. フェイスプレートを外し、ダストボックスを取り出します。



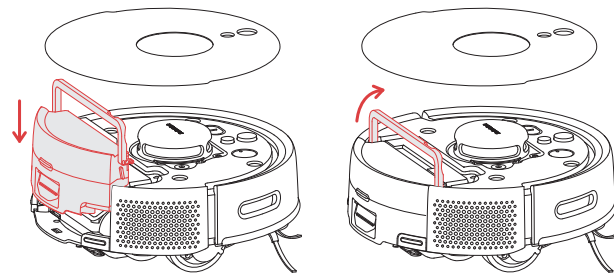
2. 図示のところを押して、ダストボックスを開きます。



3. ぬるま湯でダストボックスをすすぎ、よく乾かします。

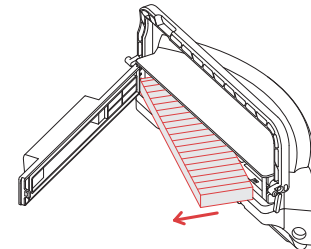


4. ダストボックスをロボットに戻し、ハンドルを元に戻します。

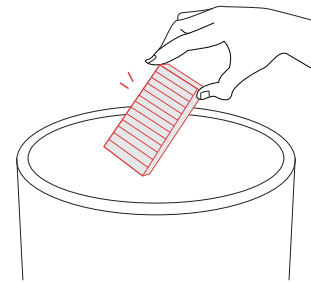


フィルター

1. カバーを開け、フィルターをつまんで引き出します。



2. ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを取り除きます。

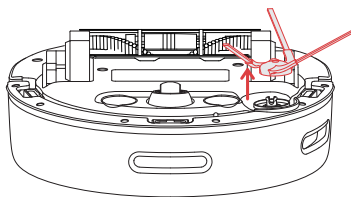


3. フィルターを元に戻し、ダストボックスをロボットに取り付けます。

ご注意: フィルターが正しく取り付けられていないと、ロボットは動作しません。フィルターは3カ月ごとに交換してください。

サイドブラシ

1. サイドブラシをつまみ、本体から上に引き抜きます。

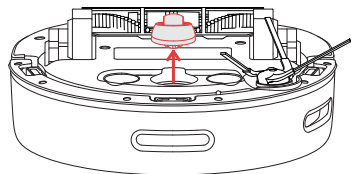


2. サイドブラシの髪の毛やゴミを取り除く、または新しいサイドブラシに交換します。
3. サイドブラシを元に戻します。

ご注意: サイドブラシは12カ月ごとに交換する必要があります。

前輪

1. 車輪をつまみ、本体から上に引き抜きます。

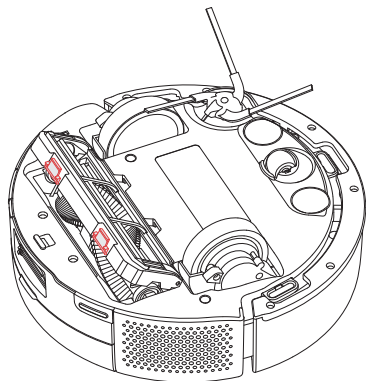


2. 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
3. 車輪を元に戻します。カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。

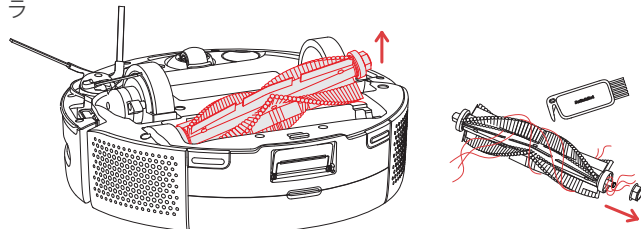
ご注意: 前輪は12カ月ごとに交換する必要があります。

メインブラシ

1. ロボットを裏返し、フックを押さえながら、ブラシフレームを持ち上げます。



2. 左側からメインブラシを取り外します。ブラシのキャップを外し、小型メンテナンスツール(容器内にある)で髪の毛やゴミを取り除きます。ブラシ

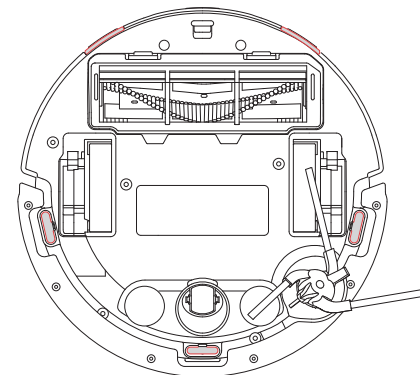


3. メインブラシをロボットに戻し、ブラシフレームを取付ます。

ご注意: メインブラシは12カ月ごとに交換する必要があります。

センサーと充電端子

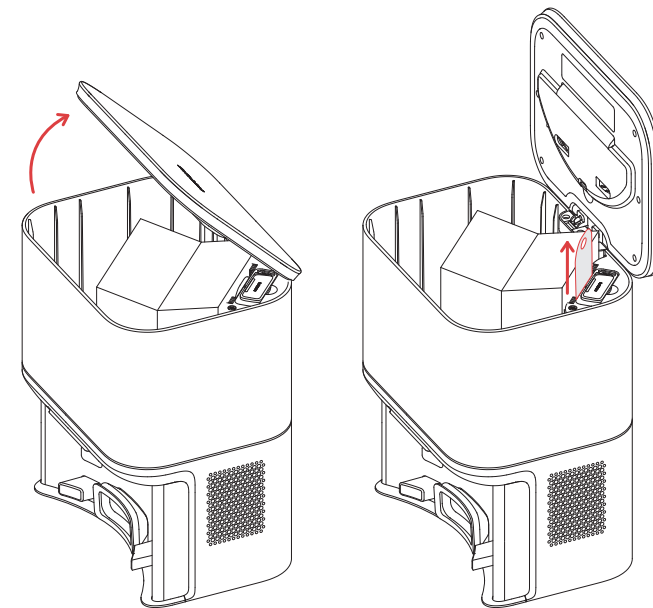
1. センサーと充電端子を乾いた清潔な布で拭きます。



ご注意: センサーや充電端子に洗浄液などを吹き付けしないでください。

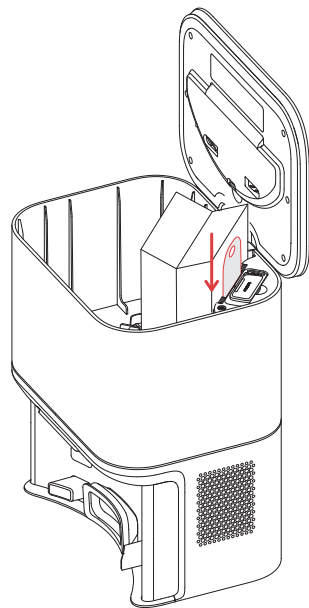
紙パック

1. カバーを引き上げます。
2. カードを引き上げ、紙パックを取り出します。



3. 使用済みの紙パックを捨てます。

4. 新しい紙パックを取り付け、カードをガイドレールにスライドさせ、カバーを閉めます。



※メインブラシやサイドブラシ、フィルター、センサーのお手入れ後、SwitchBotアプリのロボット掃除機K10+操作画面>詳細>部品使用期限から使用時間をリセットする必要があります。詳しくは下記のQRコードをスキャンして動画ガイドをご覧ください。

<https://support.switch-bot.com/hc/ja/articles/19598257281047>



困ったときは

こんなときは	ここを確かめてください
ロボットが壁や家具を回避せず衝突する	<ul style="list-style-type: none">バンパーの両側にある保護用スポンジがきちんと外されているかを確認し、ロボットが正常に動作するようにしてください。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">バッテリー残量が低下しています。ご使用前にゴミ収集ステーションへ本体を戻して充電してください。バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。本体を0℃～40℃の範囲で使用してください。
充電できない	<ul style="list-style-type: none">ゴミ収集ステーションが通電していない可能性があります。電源ケーブルが正しく差し込まれているかを確認してください。接触不良の可能性があります。本体充電端子とゴミ収集ステーション充電接続部を清掃してください。
アプリでエリアのマップを作成できない	<ul style="list-style-type: none">マップの作成には、ゴミ収集ステーションから出発してマッピングを行なう必要があります。マッピング機能の使用をお勧めします。初回のマッピングが行なわれている最中は、本体を移動しないでください。本体の位置決めエラーが発生する可能性があります。初回のマッピングが完了したにも関わらず、正常にゴミ収集ステーションへ戻らない場合、帰還するルート中にある障害物を取り除いてください。
本体がゴミ収集ステーションに戻ることができない	<ul style="list-style-type: none">ゴミ収集ステーションの電源が切れている、または本体が室外に移動しています。部屋のドアが閉まっているなど、帰還経路が塞がれています。ゴミ収集ステーションの近くに障害物が多すぎます。ポットを移動させると位置の再検出を行います。失敗すると、マップの作成が行われず、ゴミ収集ステーションが遠くにある場合、充電できないことがあるので、手で本体をゴミ収集ステーションに戻して充電してください。ゴミ収集ステーションの充電送信部は、ほこりや汚れを防ぐために拭いてください。柔らかい乾いた布で、本体の前面障害物回避センサーを優しく拭き、清潔に保ってください。
充電速度が遅い	<ul style="list-style-type: none">充電端子が汚れている可能性があります。汚れている部分を乾いた布で拭いてください。
動作の異常	<ul style="list-style-type: none">本体の電源を切ってから再度電源を入れ直してください。
サイドブラシが外れてしまった	<ul style="list-style-type: none">サイドブラシを取り付け直してください。カチッという音がしたら、サイドブラシが正しく取り付けられています。サイドブラシがコードに絡まって外れた可能性があります。使用する前に、ケーブルを整理してください。
床の清掃漏れ	<ul style="list-style-type: none">ダストボックスが満杯になっている。→空にしてください。フィルターにゴミが詰まっている。→清掃してください。フィルターのお手入れ後、乾いていない。→乾かしてください。

こんなときは	ここを確かめてください
本体運転中のホコリ漏れ	<ul style="list-style-type: none"> メインブラシとダストボックスを取り外し、メインブラシの周囲に異物がないことを確認します。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ダストボックスが満杯です。空にしてください。 メインブラシやダストボックスに硬いものが挟まっています。清掃してください。 サイドブラシやメインブラシに異物が絡まっています。清掃してください。 本体の吸引モードを標準または静音にすることができます。
運転時の異音	<ul style="list-style-type: none"> 主輪に異物が絡まったり、引っ掛かたりしていないか確認してください。異物がある場合は、適時に清掃してください。またはサポートセンターまでご連絡ください。
作業中の挟み込みによる停止	<ul style="list-style-type: none"> スムーズに動作するよう、ケーブル、カーテン、カーペットの端などが絡まったり、邪魔になったりしてないか確認し、手動で取り除くことをお勧めします。 本体の高さに近い家具が引っかかる可能性があるため、それを避けるために、家具を高くするか、遮ることができます。アプリから進入禁止エリアやバーチャルウォールを設置することをお勧めします。
作業時の経路が乱れている	<ul style="list-style-type: none"> 地面に置かれたケーブルやスリッパなどは、本体の正常な動作に影響を与えるため、使用前に元の位置に戻すことをお勧めします。 滑りやすい床での作業では、主車輪が滑る原因となるため、使用前に拭いているか、自然乾燥させることをお勧めします。
清掃されていない部屋がある	<ul style="list-style-type: none"> すべてのドアが開いていることを確認してください。 高い段差を乗り越えることができませんので、部屋の入り口に1.8cm以上の部屋がないか確認してください。 部屋が濡れて本体が異常動作する場合は、手動で床の水を掃除することをお勧めします。 部屋の入り口に小さなマットやカーペットがあるかどうか確認してください。水拭き中、カーペットを識別すると回避されず、アプリ設定からカーペット識別機能をOFFにしてください。
本体がゴミ収集ステーションに戻ったがゴミを収集しない	<ul style="list-style-type: none"> おやすみモード中は自動ゴミ収集しません。 紙パックが満杯になっていないか確認し、速やかに交換してください(1~2か月に交換することをお勧めします)。 紙パックが満杯になってない場合は、ゴミ収集口やゴミ収集ステーション下部のゴミの排気口に詰まりがないか確認してください。

表示ランプの状態

表示ランプ状態	デバイス状態
白く点灯	充電済み、または清掃中
白くゆっくり点滅	充電中
白く点滅	Wi-Fiに接続中
オレンジ色に点灯	バッテリー残量低下
オレンジ色に点滅	電源切れ、または故障

ネットワーク初期化

🏠 と 🔌 を同時に3秒間押し続けると、Wi-Fiがリセットされます。

ファームウェアアップデート

より快適にご利用いただくために、常にファームウェアを最新のバージョンに更新することをおすすめします。新しいバージョンがある場合、アカウトにアップデートの通知を送信します。ファームウェアのアップデートを行なう際は、SwitchBot製品のバッテリーが十分であることを確認し、スマホをSwitchBot製品に近づけて行ってください。

製品を廃棄するとき

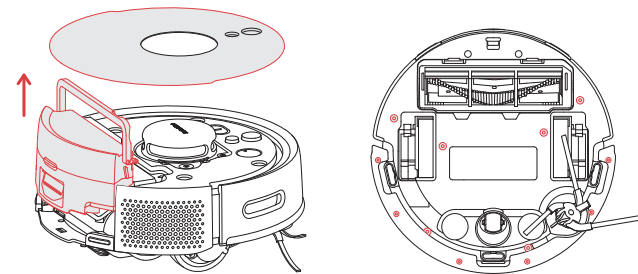
リサイクルについて

バッテリーは貴重な資源です。再利用することが可能なため、不要になったバッテリーは家庭ごみとして廃棄せずに取り出し、お住まいの自治体にお問い合わせのうえ、リサイクルへのご協力をお願いします。また、ショートすると危険なため、金属端子部をテープ等で絶縁してください。 ※自治体により、回収のルールが異なります。

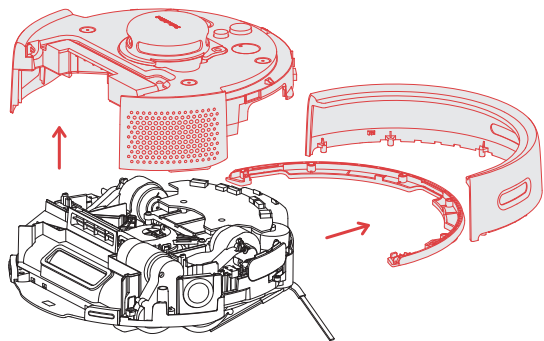
バッテリーの取り出し

バッテリーの取り出しは、本製品を廃棄する場合のみ行ってください。

1. バッテリーを取り出す前に、ロボットの電源を切ります。
2. ロボットのフェイスプレートとダストボックスを外します。

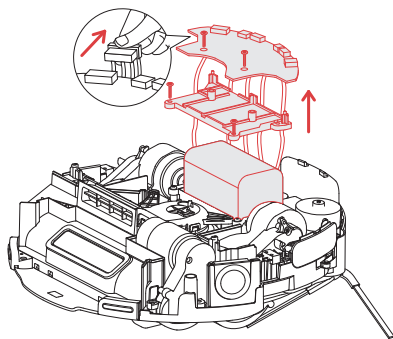


3.ネジを外し、バンパーとカバーを外します。



4. ネジを緩め、メインボードとバッテリーのカバーを外します。

5. コネクターのつまみを押しながら、コネクタを引き抜いて、バッテ



注意:

- 運転が完全に停止するまで使い切り、ゴミ収集ステーションには接続しないでください。
- バッテリーのショートや液漏れを防ぐために、バッテリーを傷つけないでください。
- バッテリーが液漏れしたときは、絶対に素手でさわらないようにして

製品仕様

本体

材料: ABS
本体重量: 約2.3kg
定格電圧: 14.4V
動作温度: 0℃~40℃
対応OS: iOS 14.0以降、Android 5.0以降

本体寸法: 248×248×92mm
定格電力: 30W
バッテリー: 3200mAh
通信方式: 2.4GHz Wi-Fi、Bluetooth4.2

ゴミ収集ステーション

寸法: 261×210×323mm
定格電力(充電中): 30W
定格電力(ゴミ収集中): 950W
定格出力: 24V $\overline{=}$ 1A

保証

保証期間はご購入日から1年間となります。保証期間内は製品の交換・返品・返金等の対応が可能です。ただし、以下のいずれかに該当する場合は保証範囲外となります。予めご了承ください。

1. 不適切な取り扱いや誤用・乱用等による故障や損傷
2. 不適切な使用環境での使用や保管等による故障や損傷(例えば: 水気のある環境下での使用や、デバイスを設置する際に落下させたことによる故障)
3. 不当な修理や改造・分解及び異常電圧等に起因する故障や損傷
4. 本製品仕様に適合しないサードパーティのコンポーネントまたは製品の併用に起因する故障や損傷
5. 弊社が発行するガイドラインの範囲を超えた製品の操作に起因する故障や損傷
6. 火災・地震・水害及び盗難等の災害による故障や損傷

アフターサービス

製品についてのご意見とご不明な点等がございましたら、下記の方法でお気軽にお問い合わせください。

- ①SwitchBotアプリのプロフィールの「ヘルプとフィードバック」
フィードバックにはスマホスクリーンの録画機能があります。ご利用中に動作不良等の問題がございましたら、迅速に問題を判明させて頂くため、是非ご利用ください。
- ②サポートメールアドレス: support@switchbot.jp
- ③サポートウェブサイト: support.switch-bot.com/hc/ja

※お客様の個人情報のお取り扱いについて

弊社はおお客様の個人情報を、弊社製品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。ご提供いただいた個人情報は適切に管理し、お客様の個人情報の保護に万全を尽くしてまいります。